

アウトリーチ活動 岡さんぽへの協力

分子科学研究所は本年度、岡崎市観光協会の実施する「岡さんぽ」という行事に協力しました。岡さんぽは岡崎市付近にお住まいの方々を主な対象として、普段暮らしている岡崎の意外な魅力を発見するという趣旨で、いくつかの名所・旧跡などを巡る、町歩きの企画です。この企画に分子研も、岡崎の名所(?)の一つとして登場しました。バラエティーに富んだ岡さんぽの企画は年に数十回も実施されていますが、分子研はそのうちの2回に協力しました。第1回は6月13日、第2回は10月11日に行われ、いずれも定員の20名があつというまに埋まってしまったと聞いています。当日は、ご参加の方々を計算科学研究センターやUVSORにご案内し、またその途中で簡単な実験ショーを実施しました。幸いご好評をいただき、近所にあることは知っていても中に入る機会もなく、縁遠い存在だった分子研を、少し身近に感じていただけるきっかけになったようです。普段はなかなか研究所に対して親近感やメリットを感じていただけないかとも思いますので、このような企画でお近くの方と親しくさせていただけることは、分子研にとっても大変有意義なことと思います。科学コミュニケーション活動としても、堅苦しい科学のイメージとは無縁の「観光」の文脈で、自然に、気軽に、科学的なことに触れて、楽しんでいただくことのできる、斬新な企画に協力して、得難い経験をさせていただきました。ありがとうございます。

(広報担当 記)



岡さんぽ!

岡崎は驚きと発見の玉手箱!

みだり閑然なく歩く街にも、知られざる魅力は意外と秘れているものです。史跡はもちろん、美しいお店や素敵な景色があなただけを待っています。「岡さんぽ」とは、そんな地元ならではの隠れたポイントをガイド付きで巡るプランです。岡崎を知り尽くした案内人と、あなたの歴史や名所を一緒に発見してみませんか?

岡さんぽの基本情報!



覽古考新21 | 2003年

70年代から90年代にかけては、観測手段の進歩が次々と新しい知見を分子科学にもたらし、コンピューターの進歩に基づく理論化学の発展や、分子性物質の伝導性や磁性などの物性研究の進展もあって、物理化学を中心とする分子科学は大きく発展した。その流れの中で、分子研は世界における分子科学研究のセンターとして確固とした地位を築いてきた。現在でも伝統的な分子科学の研究は分子研の研究の大きな部分を占めている。しかし、分子研のカバーする分野が増え、統合バイオセンターやナノサイエンスセンターが設立され、分子研での研究も多様化し、変わりつつあるように思われる。伝統的な分子科学が成熟し、化学とそれを取り巻く状況も変わりつつある現状を考えれば、これは当然のことであろう。重要なのは、この新しい流れの中で世界の分子科学をリードする独創的な成果を生み出す事である。分子研が新しい分野で大きな成果をあげ、世界に誇り得る研究センターになることを心から期待したい。

.....

自分の専門の枠を越えて他分野の研究者とも積極的に交流し、インパクトの大きい独創的な研究を生み出して欲しい。

分子研レターズ No.48「巻頭言：分子研への期待」(2003年)
廣田 襄 (分子科学研究所研究顧問、京都大学名誉教授)